

**講座  
4**

**世界秩序の構造変動とロシア・ウクライナ戦争**

オンライン併用

【会場定員】72名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『政治・経済・社会』 国際関係 【時 間】 毎回13時00分～14時30分（計12回）

**概要**

2022年2月にはじまったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、冷戦後の世界の構造的問題点を明らかにした。核兵器使用の危険性、自由主義対権威主義の対立、グローバル・サウスの位置など、ロシア・ウクライナの二国間関係にとどまらない、世界秩序の変動と危機の構造を多角的に検討していく。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/16(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション：ロシア・ウクライナ戦争と世界の課題	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	10/23(月)		第2次世界大戦から冷戦秩序への移行	
3	10/30(月)		冷戦秩序の構造：対立と包摂	
4	11/ 6(月)		冷戦秩序から冷戦後秩序への移行：グローバル化と新自由主義	
5	11/13(月)		冷戦後秩序形成期における自由主義世界とロシア	
6	11/20(月)		冷戦後秩序とロシア：相対的安定の論理と矛盾	
7	11/27(月)		冷戦後秩序と中国（1）関与と包摂	
8	12/ 4(月)		冷戦後秩序と中国（2）対立の構図と論理	
9	12/18(月)		冷戦後秩序におけるグローバルサウス（1）：グローバル化・包摂・排除	
10	1/15(月)		冷戦後秩序とグローバルサウス（2）：混乱・内戦・移民	
11	1/22(月)		蓄積された危機とロシア・ウクライナ戦争後の世界	
12	1/29(月)		世界秩序変革への課題	